

松浦川における

アザメの瀬

自然再生事業

再生



平成13年11月撮影

武雄河川事務所  
アザメの会  
相知町

# 豊かな湿地进行

## ふたたび

## 自然再生事業とは、

過去に損われた自然を積極的に取り戻すことで良好な生物の生息・生育環境を再生することを目的として行う事業です。  
河川、湿原、干潟、藻場、里山などを再生します。

## 松浦川では、

昭和28年、47年、平成2年とたびたび大規模な洪水被害を受けたため、川幅を広げたり、堤防を築いたりして洪水対策を行い、昔と比較すると大幅に洪水被害が軽減しています。

その反面、昔は普通に見られた、コイ、フナ、ドジョウなどの格好の産卵場であった氾濫原的湿地環境が大きく失われています。

アザメの瀬自然再生事業は、日本のあちこちで昔はどこでも見られた、洪水時に川があふれ氾濫し、その氾濫のリズムとともに長い間生きてきた生物が棲んでくれるような氾濫原的湿地環境の再生を行っています。

## 減ってきた湿地的環境

堤防が出来る前の松浦川では、至る所で氾濫をくり返していましたが、動植物にとって重要な場所となっていました。

氾濫原的湿地環境とは、このように堤防が出来る前の河川沿いの土地のことを指しています。

昔	氾濫平野	12.1km <sup>2</sup>
	旧河道	2.0km <sup>2</sup>
現在		1.1km <sup>2</sup>
・氾濫原的湿地環境が92%減少		

※国土交通省武雄河川事務所調べ

松浦川水系の一例

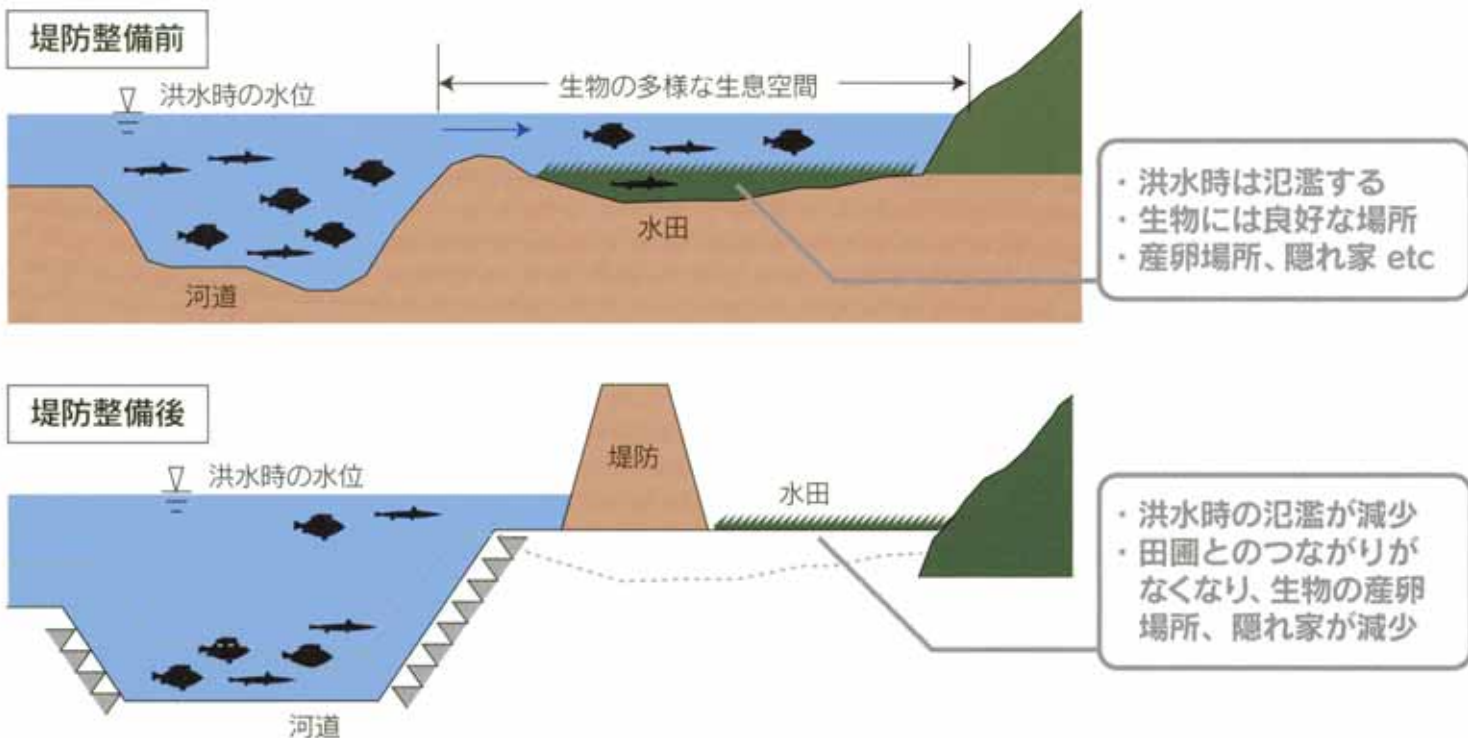


出典：建設省九州地方整備局「治水地形分類図」

氾濫平野

# 氾濫原的湿地

# 湿地的環境形成のしくみを再生



## 普通に見られた魚介類の減少

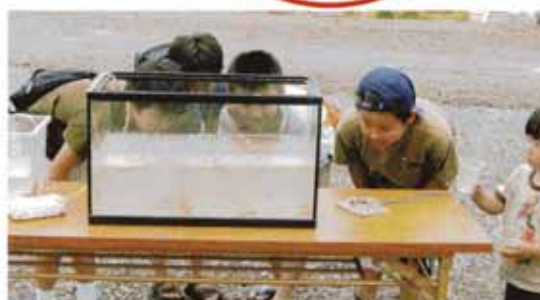


- ・テナガエビがたくさんいた。裸眼で魚が見えていた
  - ・昭和38年ごろまで、ツガニがとれた
  - ・夏場は晩飯のおかずは貝だった
  - ・食用として、イダ(ウグイ)、コイ、フナ、カニ、テナガエビ、メダカ(稚魚)、ナマズ、ドジョウがとれていた
- ※住民の聞き取り調査による

## アザメの瀬自然再生計画の目標

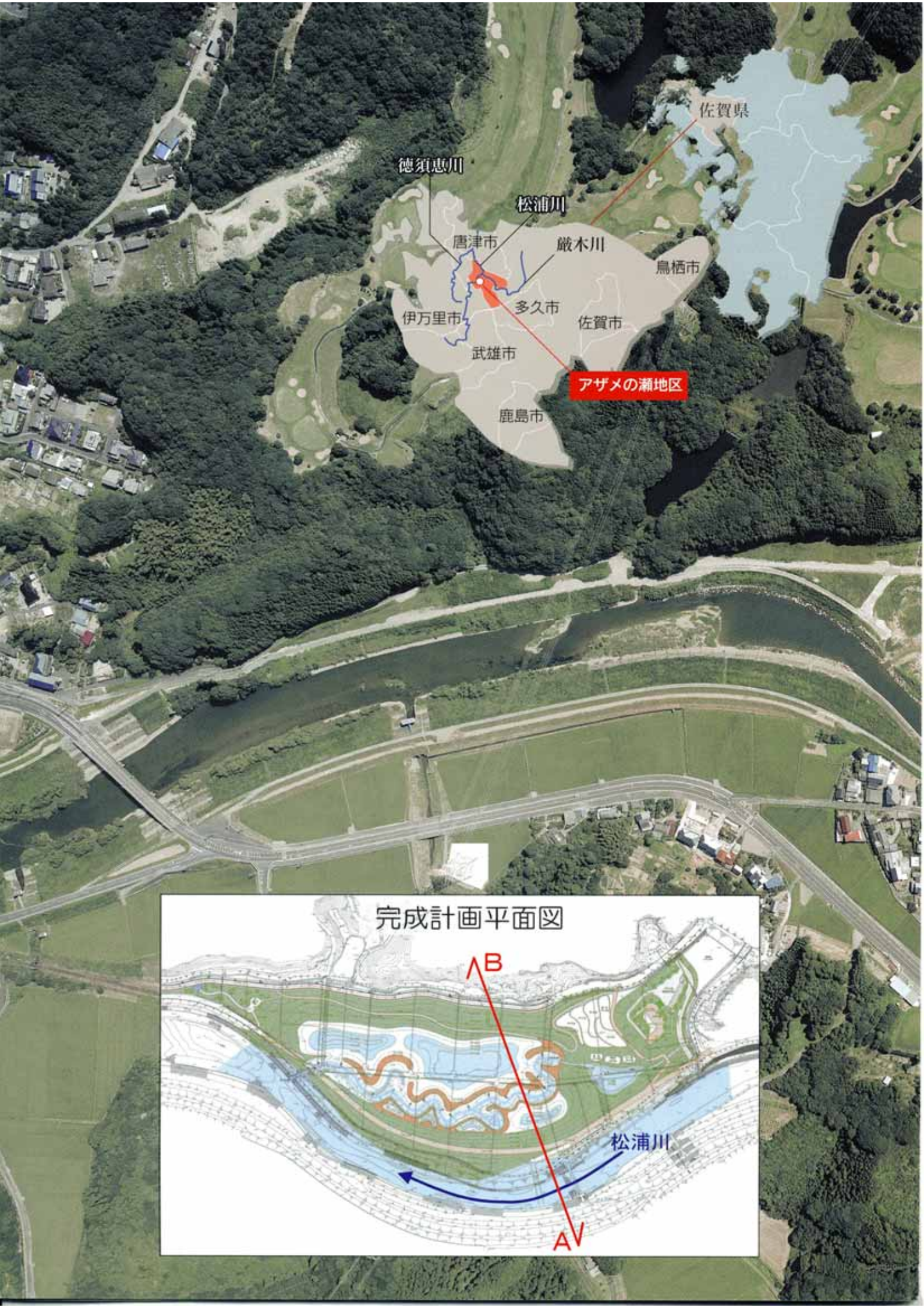


人と生物のふれあいの再生  
河川の氾濫原的湿地を再生

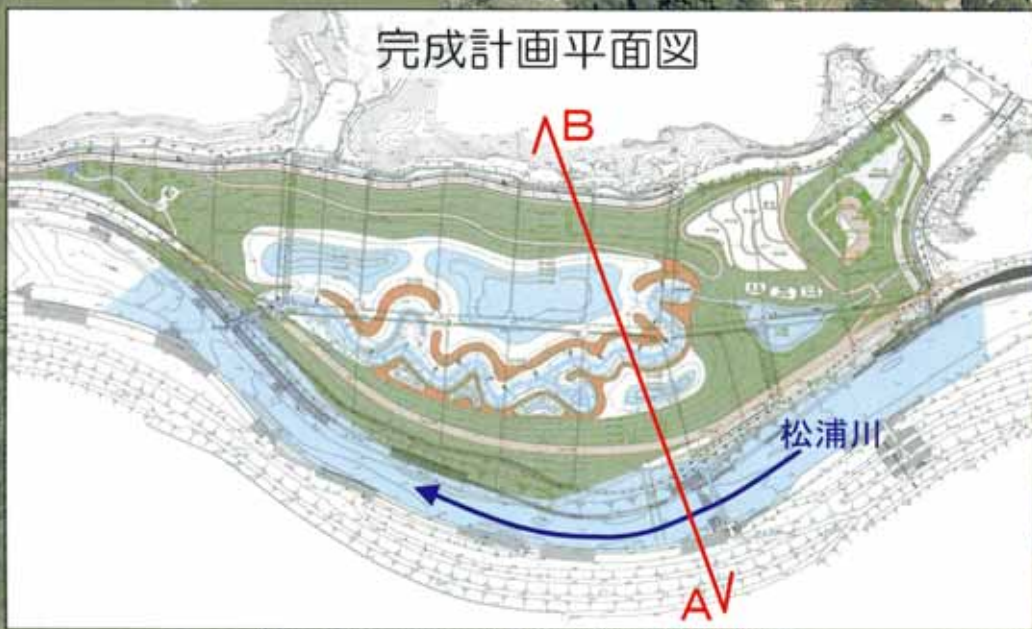


環境再生

人と生物のふれあい



完成計画平面図



昔、日本のあちこちにあった、  
コイ、フナ、ドジョウの  
棲む川と  
つながっていた湿地。  
松浦川、アザメの瀬では、  
そんな古き良き日本の  
なつかしい自然を  
再生しています。



氾濫をくり返しながら、つくられる自然。  
 評価を行いながら、順応的に  
 手直ししながら湿地を  
 つくりあげていきます。



整備前



平成13年11月

一次掘削後



平成15年9月

状況に応じて計画の内容にフィードバック

事前調査

目標設定

施工計画(案)

予測・評価  
 (インパクト・レスポンス)<sup>※</sup>

施工計画

段階的施工・管理

モニタリング

評価  
 (予測との比較)

自然の様子を

見ながら

※人為による影響をインパクト、そこから河川環境がどのように応答するかをレスポンスと定義し、河川事業の実施に伴うインパクトとレスポンスの関係を明らかにすることにより確立される予測手法のこと。



## 徹底した住民参加をしています。

### アザメの瀬自然再生事業の流れ

平成13年 11月上旬	第1回アザメの瀬検討会開催
11月中旬	第2回アザメの瀬検討会及び勉強会開催
12月上旬	河川環境再生シンポジウム開催(佐賀県相知町)
12月中旬	第3回アザメの瀬検討会開催
平成14年 1月下旬	アザメの瀬現地見学会及び地元長老会との懇談会開催
1月下旬	第4回アザメの瀬検討会開催
2月上旬	第1回アザメの瀬代表者検討会開催
3月中旬	第2回アザメの瀬代表者検討会開催
4月中旬	第5回アザメの瀬検討会開催
6月下旬	自然再生事業シンポジウム開催(佐賀県唐津市)
7月中旬～12月上旬	第6～13回アザメの瀬検討会開催
12月上旬	住民組織「アザメの会」発足
平成15年 1月～3月下旬	第14～17回アザメの瀬検討会開催
4月下旬	公募研究者現地見学及び第1回研究会開催
5月上旬	第18回アザメの瀬検討会開催
6月上旬	第19回アザメの瀬検討会開催
6月下旬	アザメの瀬自然再生事業出立式開催
7月上旬～平成16年3月	第20～28回アザメの瀬検討会開催

住民の想いを研究者の評価で



## 研究者と一緒に科学的な評価を行なっています。

### アザメの瀬自然再生事業評価手法

CVMによるアザメの瀬の経済価値評価に関する研究	日本大学
アザメの瀬自然再生過程で復元する植物種の自然適性に関する生態遺伝学的評価研究	大阪府立大学
アザメの瀬における植生復元への土壌シードバンク利用可能性の評価	東京大学
アザメの瀬再生過程における土壌養分とバイオマスの評価	九州大学
イネ科草本群落の成立と哺乳類の動向～特にカヤネズミの移入・定着～	九州大学
自然再生事業による生物相復元効果の指標開発	和歌山大学
再生された氾濫原湿地における氾濫流と種子の分散	九州大学
氾濫原的湿地における魚類の生息環境評価	武雄河川事務所



アザメの瀬が人と  
生き物の「やすらぎ」の  
場になることを  
願っています。アザメの会 同

ふるさとの川 松浦川

つさぎ追い  
かの山  
小ぶな釣  
かの川



アザメの瀬完成イメージパース



連絡先

**国土交通省九州地方整備局武雄河川事務所**

〒843-0023 佐賀県武雄市大字昭和745 TEL 0954-23-5151

FAX 0954-23-5193

**相知町役場 建設課**

〒849-3201 佐賀県東松浦郡大字相知 2055-1 TEL 0955-62-2111

FAX 0955-62-4477

**アザメの会**

**R100**  
全国100%再生可能エネルギー